

令和2年度 バドミントン部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	山口 侑利	磯部 規道	部活動指導員
副顧問	木村 礼美		
副顧問	高田 伸		
副顧問	小見川 茂子		
副顧問	吉田 宣浩		

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	規範意識を培い自主・自律の力を育てることを方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	各部員が技術向上の目標を明確にもち、個人戦、団体戦ともに都予選会の上位入賞を目指して日々の練習に取り組む。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	年間3回行われる大田区民スポーツ大会にできるだけ参加する。大田区の中学校との合同練習を実施する。

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	練習日は原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	高体連バドミントン専門部主催の大会のほか、2月の国公立大会に参加する。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	生徒の意欲や技術、時期等をみて他校との練習試合を年数回以上設定する。
(4) 部加入率の維持、増加	出席簿による確実な部員管理、練習後のミーティング、部長やマネージャーなどとのこまめな情報交換、必要に応じた部員との面談等おこなう。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、部内で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
(2) 生徒間の暴力禁止	運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で肉体的、精神的な強制力で問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用	部活動指導員を活用し、指導の充実と安全の配慮を行う。
(4) 事故防止・安全配慮	生徒の心身の発育・発達や体力・技術と練習内容および場所を適切に把握して計画を立てる。また、バドミントンで起こりうるケガの危険性について指導するとともに、生徒の健康観察を徹底する。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	
	5	
	6	仮入部 活動開始
	7	入部会・部活動説明会(指導方針等を説明)
	8	夏季休業中 練習及び練習試合
2 学 期	9	新人戦Ⅰ部大会(個人・複)
	10	新人戦Ⅰ部大会(個人・単)
	11	新人大会(団体)
	12	冬季休業中 練習及び練習試合
3 学 期	1	冬季ブロック大会(団体)
	2	東京都国公立高等学校大会(団体)
		大田区民スポーツ大会
	3	新人戦Ⅱ部大会(個人)
		春季休業中 練習及び練習試合、三送会

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所	体育館	体育館	体育館	体育館		体育館 (どちらか1日)	

7 公式戦・大会等の実績

・ 高体連主催の大会に出場 ・ 国公立大会に出場 ・ 大田区民大会に出場
--